



多分…

これは…  
アレだよな

うあ…



発情期じゃない？  
なんて…

もしかして…

その…困惑してる  
みたいだから…  
言っちゃうけど



あっ

だ、大丈夫  
何もしないから



は...

発じよ...っ?!

カ

違う? あれ?  
やっぱ初めてなの?

ごめんね  
エッチな事  
聞いて



...大丈夫だから...  
隠さなくていいよ

警戒している... 僕を  
...いや... 人間を...?



俺は人間だっ  
...妙な事  
言ってんじゃねえっ



はな...せっ!!



嘘じゃない  
君の味方だ

これ以上  
何も言うな  
マレーネ…  
お前の為だ



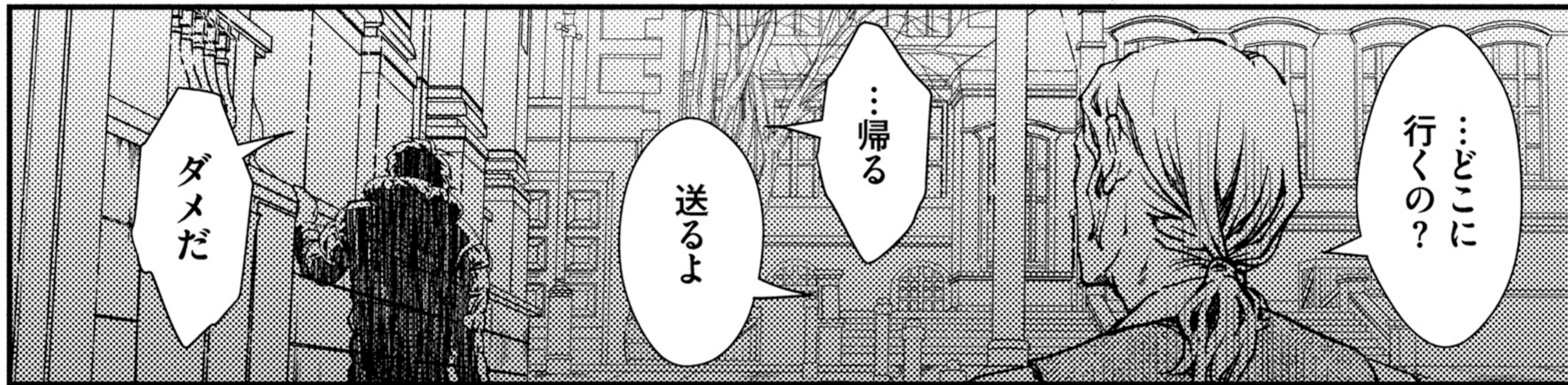
リリー、僕は君を  
傷付けるような事は  
しないし  
馬鹿げた迷信も  
信じていない

だから安心して

…離せ…っ



…



ダメだ

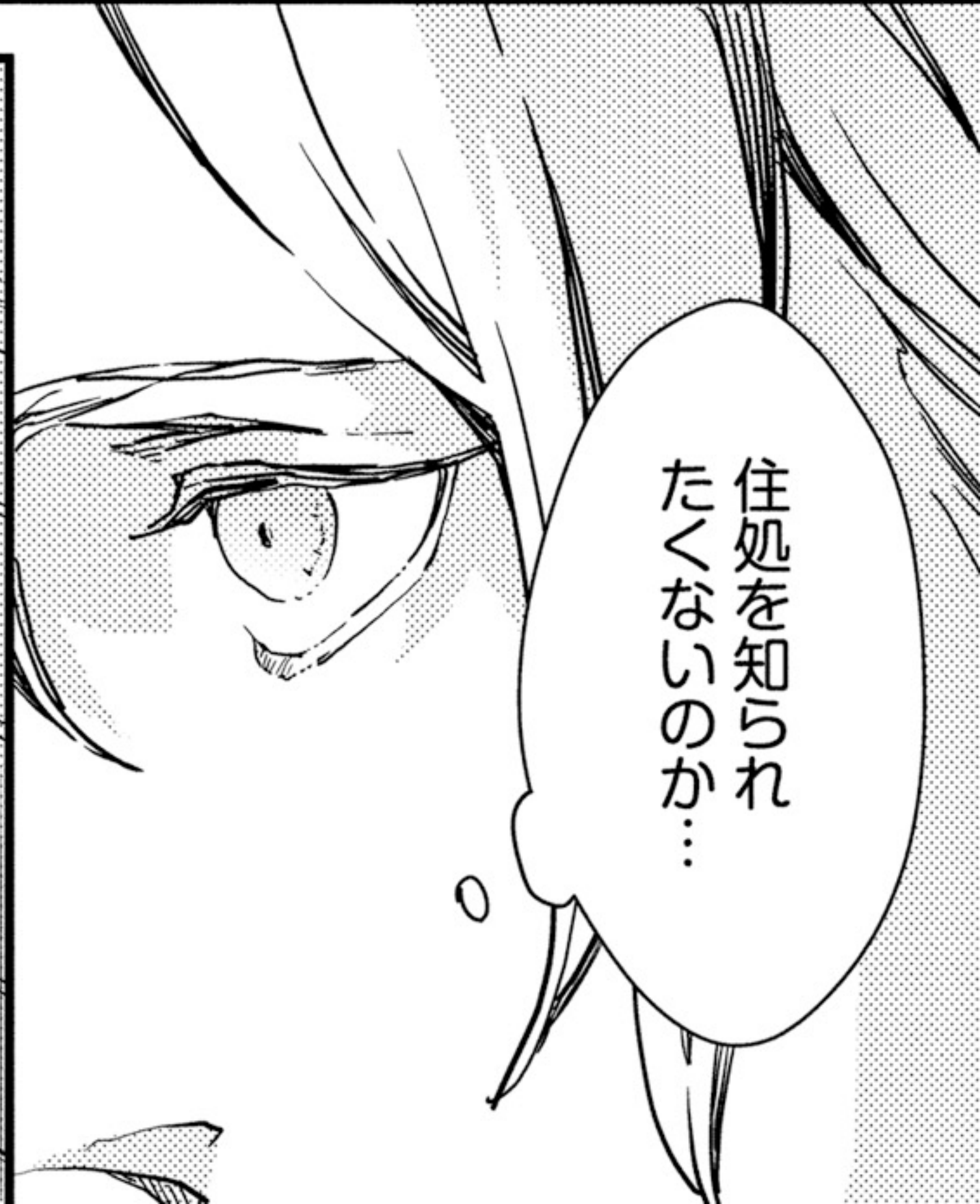
送るよ

…帰る

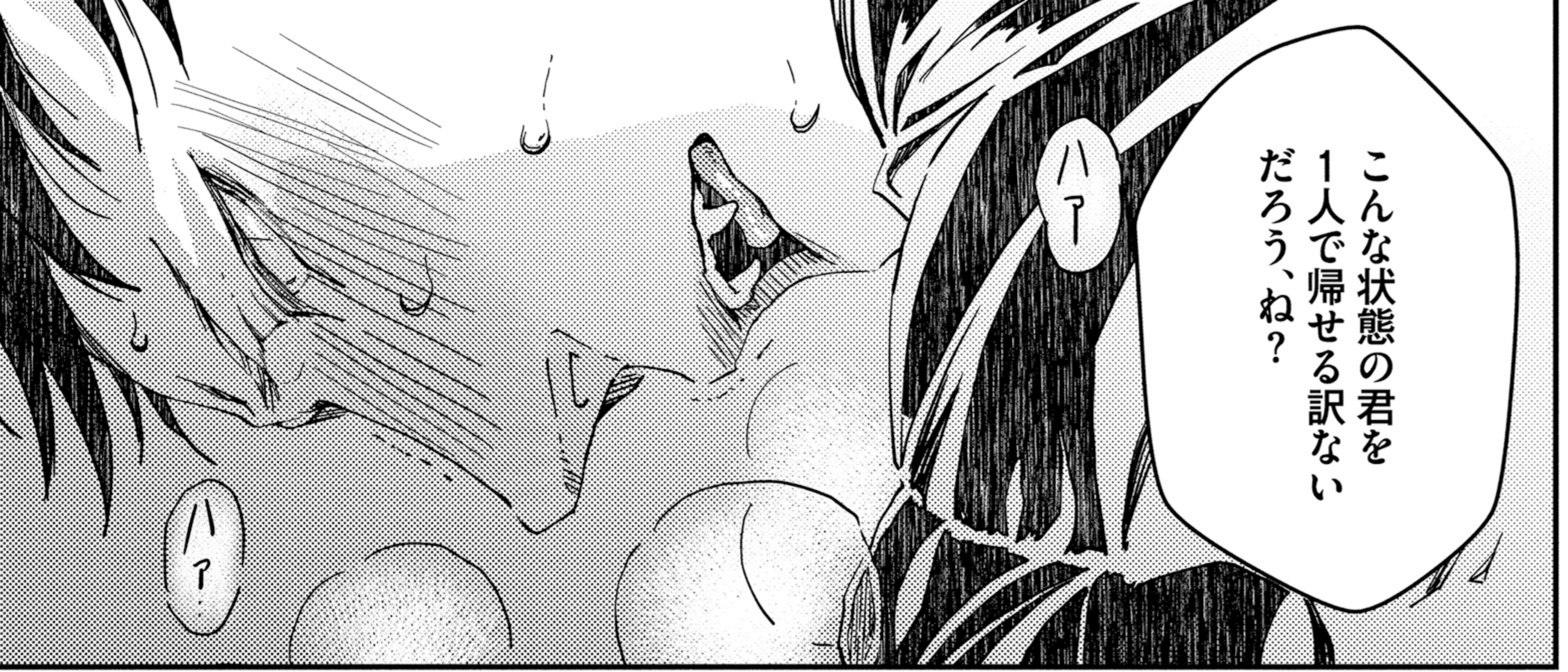
…どこに  
行くの？



!! ほらっ



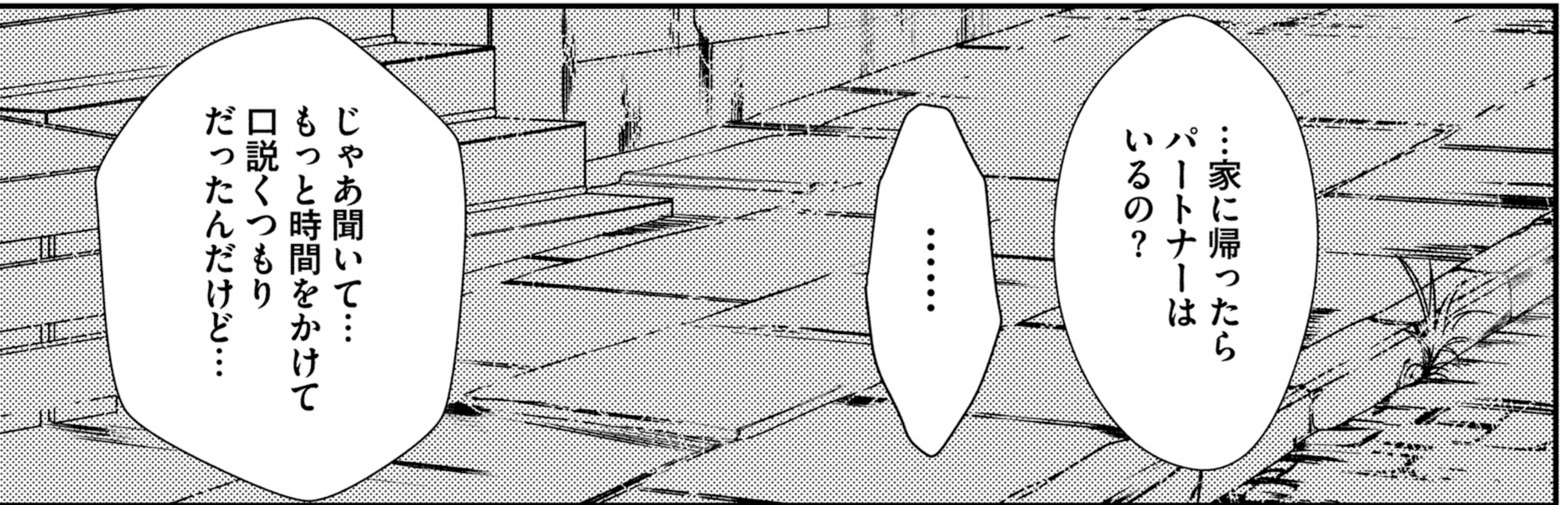
住処を知られ  
たくないのか…



こんな状態の君を  
一人で帰せる訳ない  
だろう、ね？

ハア

ハア



…家に帰ったら  
パートナーは  
いるの？

……

じゃあ聞いて…  
もっと時間をかけて  
口説くつもり  
だったんだけど…



…いい度胸だな  
マレーネ…  
もし俺が本当に  
お前の思うような  
輩だったら…

明日の朝を無事に  
迎えられないのは  
お前の方だぞ



僕に君の相手を  
させてくれないか？

言っただろう？  
僕は迷信なんて  
信じてないって

ヴァラヴォルフは  
無闇やたらに人を  
襲ったりしないし  
喰いもしない

だ…だいいち  
俺は男だっ

それは  
些細な事だよ

